檜山教育局による地学協働活動推進のための広報

ひとづくり　や　まちづくり

ひやまをつなごう

第12号　令和5年(2023年)5月

●発　行:北海道教育庁檜山教育局
●担　当:教育支援課社会教育指導班
●電　話:0139-52-6525(直通)
●メール:hiyakyo.seigaku1@pref.hokkaido.lg.jp

1　サポート企業交流会を実施しました

令和４年度北海道家庭教育サポート企業交流会

令和５年３月16日（木）に、北海道家庭教育サポート企業交流会がオンラインで行われ、檜山管内の家庭教育サポート企業等制度登録企業の担当者や教育委員会職員、教育関係者など８名が参加し、日頃の取組などについて交流しました。

はじめに教育局から、基本的な生活習慣を子どもに身につけさせることの重要性について説明しました。特に全国学力・学習状況調査の結果と、家庭での生活習慣の関連性などについて説明し、企業での家庭教育の推進につながるよう情報提供を行いました。

その後行った参加者による交流では、中学校の職場体験の受け入れや、企業内での家庭教育の取組の進め方など、多くの話題が上がりました。「職場体験だけではなく、学校で行うキャリア教育において、企業の方の職業に対する考え方を聞くことで生徒の職業観の育成につながる」「参観日などの学校行事では積極的に有給休暇の取得を勧めるように心がけている」など、それぞれの立場で考えていることを交流しました。参加者からは、「他の企業の方と交流することができてよかった。今回はオンラインでの開催だったが、対面で話すことができるとより深い交流ができると思う。是非次回も参加したい」との感想をいただきました。

令和５年度も交流会の開催を予定していますので、多くの方のご参加をお待ちしています。また、家庭教育サポート企業等制度についてのチラシをリニューアルしていますので、右側のＱＲコードからご覧ください。

【Ｒ５版チラシ】

2　各町の魅力ある取組のご紹介（江差町）

こちらの記事は、江差町教育委員会
北嶋主事に執筆いただきました

令和５年度　江差町シニアカレッジ

令和５年４月１８日（火）、江差町文化会館小ホールにて「シニアカレッジ江差学園」の令和５年度の開校式が行われ、２７名の学生が参加しました。

「シニアカレッジ江差学園」とは、高齢化が進む社会で、シニア世代が生活に楽しさと生きがいをもち、社会活動を通して世代間交流を行うために開設された生涯学習事業であり、ふるさと江差を学ぶ事業など、地域に根ざした生涯学習を中心に活動しています。

【特別講演の様子】

檜山振興局地域政策課地域政策係長山下賢一氏を講師として招き、「持続可能な開発目標（ＳＤＧｓ）」について特別講演が行われました。北海道での取組や身近な活動などについて話され、参加した学生の方々にとっては、自分たちの身の回りでも出来ることを考える良いきっかけとなりました。

特別講演終了後は、オリエンテーションを行い、今年度の活動予定について全員で確認を行いました。

３　北海道家庭教育サポート企業等制度 登録企業のご紹介

この度、北海道家庭教育サポート企業等制度の趣旨にご賛同いただいた企業と協定を締結いたしましたので、ご紹介します。

ＪＡ新はこだて 厚沢部営農センター（厚沢部町）

ＪＡ新はこだて 厚沢部営農センターには、「取組２ 職場見学・体験の実施」、「取組６ 道民家庭の日の普及」の２点を中心に、職場や地域の家庭教育のより一層の推進に取り組んでいただきます。

これまでも、地域の子どもたちの食育などの推進に積極的に取り組まれており、厚沢部中学校の総合的な学習の時間での「地場産業を学ぶ」授業での講師や、認定こども園でのジャガイモの栽培・収穫体験、職場内の家庭教育環境づくりなどを積極的に行っていただけるとのことです。

三浦営農センター長は、「施設見学や農作業体験を通じて、地域の子供たちに農業を身近に感じてもらい農業の魅力に興味を持って欲しい」と話されていました。

【芋掘り体験の様子】

４　各町の魅力ある取組のご紹介（江差町）

親子魚さばき体験

令和５年５月 14 日（日）、江差町の檜山地域人材開発センター（まなびっく）で、江差町教育委員会主催の「親子魚さばき体験」が行われ、10 組 22 名の家族連れが参加しました。

江差町で水揚げされた 50 センチほどの大きさのマスを前に、子どもたちは「大きい！」「鮭みたい！」と目を輝かせていました。講師のひやま漁協女性部江差支部の方々に教えてもらいながら、うろこ取りや 3 枚おろし、骨抜きなどを親子で協力しながら行いました。参加した子どもは「簡単にうろこがとれて面白かった。」「骨抜きは力の入れ方が難しかった。」と話し、保護者は、「普段魚をさばくことがないが、子どもと協力しながら楽しく学ぶことができた。今度は家でもチャレンジしてみたい」と話していました。

さばいたマスの他、昨年から江差町で養殖を始めたトラウトサーモンも振る舞われ、刺身（ルイベ）やフライ、塩焼きなどに調理して試食会を行いました。参加者はそれぞれの食べ比べをしながら体験について振り返ったり、参加者同士の交流を深めたりしていました。

講師の方は「親子で協力しながら楽しんでもらえて良かった。今後もこのような体験を通して、江差の魚のおいしさを知ってもらいたい」と話していました。

【親子で協力しながら魚をさばきました】

◇ ◆ ◇ 檜山教育局からのお知らせ ◆ ◇ ◆

○　令和５年度がスタートしました。本年度も、檜山管内の地学協働の取組をたくさん発信していきたいと考えています。取材依頼や情報提供など、今後もご協力のほどよろしくお願いいたします。

情報提供・アンケート
個人配信登録はこちらから！

※ＱＲコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です